

新型EV車
品質向上プロジェクト

- 1. 品質目標の設定
  - 安全基準の遵守
    - 国際安全基準「ISO 39001」への準拠
    - 定期的な安全監査（四半期ごとに実施）
  - バッテリー寿命の延長（最低300,000km）
    - 新型リチウムイオンバッテリー「PowerCell 2.0」の採用
    - バッテリーの耐久テスト（毎月のサイクルテスト実施）
  - 故障率の低減（年間故障率1%以下）
    - 部品品質管理の強化（サプライヤー「TechParts社」との協力）
    - 故障データの分析（毎週の故障報告レビュー）
- 2. 顧客フィードバックの分析
  - ユーザーレビューの収集
    - オンラインサーベイ「EcoVoice」の実施（月1回）
    - 販売店舗での顧客インタビュー（各店舗で月2回）
    - SNSモニタリングツール「SocialScan」の活用
  - アフターサービスデータの分析
    - 修理履歴のデータベース化（「ServiceTrack」システム利用）
    - 故障パターンの分析（四半期ごとのレポート作成）
- 3. 内部プロセスの改善
  - 製造工程の見直し（リーン製造法の導入）
    - 「Kaizen」ワークショップの開催（毎月）
    - 廃棄率の削減目標（年間5%削減）
  - 品質検査の強化（毎時検査体制への移行）
    - 自動検査システム「QualityBot」の導入
    - 検査員のスキルアップトレーニング（四半期ごと）
  - 従業員トレーニング（品質意識の向上プログラム）
    - オンライン研修プログラム「QualityMind」の展開
    - 定期的な品質管理セミナー（年2回）
- 4. 技術革新の追求
  - 新バッテリー技術の研究開発（耐久性20%向上）
    - 研究パートナーシップ「Innovate-EV」との連携
    - プロトタイプテスト「BatteryX」の実施（6ヶ月ごと）
  - AIによる故障予測システムの導入
    - AIプラットフォーム「PredictorAI」の開発
    - 故障予測アルゴリズムの最適化（四半期ごとのアップデート）
  - エコ素材の採用（リサイクル可能素材への移行）
    - サステナブル素材「EcoFab」の使用
    - 環境影響評価レポートの作成（年1回）
- 5. リスク管理
  - サプライチェーンのリスク評価
    - サプライヤー監査「ChainCheck」の実施（四半期ごと）
    - リスクマッピングワークショップ（年2回）
  - 定期的なリスク監査の実施
    - 内部監査チーム「RiskGuardians」の設置
    - 監査結果のレビュー会議（四半期ごと）
    - 緊急時対応プランの策定
      - 緊急対応訓練「QuickResponse」の実施（年1回）
      - 緊急連絡ネットワークの確立
- 6. 顧客満足度の向上
  - カスタマーサポートの強化
    - 24/7オンラインサポート「HelpEco」の提供
    - カスタマーサービス研修プログラムの実施（四半期ごと）
    - 保証期間の延長（3年から5年へ）
      - 保証プログラム「EcoWarranty+」の導入
      - 保証クレーム処理の効率化
  - ユーザーエクスペリエンスの改善
    - ユーザーインターフェースのアップデート「UXRevamp」
    - 定期的なユーザー満足度調査（半年ごと）